



2021年7月28日

～車の安全性に貢献する新製品～

豊田合成、新構造の運転席エアバッグを開発

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、乗員をより安全に保護できる「新構造の運転席エアバッグ」を開発しました。本製品は2021年6月に北米で発売された新型シビックに搭載されています。

運転席エアバッグはハンドル中央部に搭載され、前方からの衝突時に瞬時に膨らんで頭部や胸部への衝撃を軽減します。今回の新製品は、斜めからの衝突時の安全性能を更に高めるため、新たな構造を採用しています。膨らんだ際の球面にドーナツ状のくぼみを設けることで、斜めからの衝突時に頭部の回転を最小限に受け止めることが可能で、今後、北米などで厳格化が見込まれる車両の衝突安全アセスメント※に対応しています。

今後も当社は、自動運転時の乗車姿勢の多様化に対応したエアバッグの開発・提供などを通じ、安全で安心な車室内空間の実現に貢献していきます。

※ 世界各地で導入されている安全性の評価。車種ごとの衝突試験の結果を、消費者が分かりやすいよう星の数を用いて公表している。

新構造の運転席エアバッグ



斜めからの衝突時の頭部の動き (上から見たイメージ)

